

TIA News!

2015.6.Vol.67



Contents

■会長挨拶：活動方針……………	2	■フロント育成塾報告……………	20
■第23回定時総会報告……………	3	■安全委員会通信 Vol.21……………	22
■平成27年度事業計画……………	4	■安全セミナー開催報告……………	24
■有明の森スポーツフェスタ2015 報告……………	8	■人事・労務コラム……………	26
■『テニスの日』概要……………	10	■税制コラム……………	28
■クラブ部会・後継者の会報告……………	12	■庭球人語「肯定的幻想」または「理想化」……………	29
■スクール部会報告……………	14	■賛助会員名簿……………	30
■第17回コーチステップアップアカデミー開催報告……………	15	■テニス川柳／編集後記……………	31
■スジガネ君、テニスを語る……………	19		



会長 大久保 清一

国内経済、景気の動向はアベノミクスの浸透により大企業を中心に回復基調が持続しておりますが、広く国内全体にはまだまだの状態であるようです。個人消費の回復を含め今年以降の経済対策にさらに期待をしたいものであります。

スポーツ界においては、「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催に向けて各競技団体、活発に活動を展開し、国民のスポーツに対する関心がさらに高まってきているとの感があります。

我々テニス界においては、錦織選手の昨年のUS OPEN 準優勝を筆頭に多くの選手たちの活躍もあり、多くの方々のテニスに対する関心が非常に高まってきております。また、少年マガジンで連載され人気マンガとなっている「ベイブーステップ」の第二シリーズが4月からNHKで継続放映され、『テニスの日』のキャラクターにも継続して採用される等、テニス界には明るい話題が続いております。そこで、この機会にテニスブームをより強く確固としたものにすべく行動をして参りたいと思います。

我々テニス界においては、錦織選手の昨年のUS OPEN 準優勝を筆頭に多くの選手たちの活躍もあり、多くの方々のテニスに対する関心が非常に高まってきております。また、少年マガジンで連載され人気マンガとなっている「ベイブーステップ」の第二シリーズが4月からNHKで継続放映され、『テニスの日』のキャラクターにも継続して採用される等、テニス界には明るい話題が続いております。そこで、この機会にテニスブームをより強く確固としたものにすべく行動をして参りたいと思います。

ここ数年取り組んでおります「TENNIS PLAY + STAY」につきましては、日本テニス連合でも更に推進するための活動に重点を置いて、当事業協会でもより積極的に取り組み推進しております。

当初紹介された子ども向けのプログラム「Tennis 10s」の充実を図ることはもとより、新たに発表された大人の初心者向けプログラム「Tennis Xpress」の普及を図る事により、幅広い年齢層を対象とした「TENNIS PLAY + STAY」プログラムを活用してテニスの普及・愛好者増大のために必要な実践的リーダーの育成をすることが我々テニス事業者の責務であると考えております。

そして、テニス事業はサービス産業でもあり、サービス業は人材で全てが決まると言われております。そこで業界の発展拡大が出来る人材の能力開発を目的に行っているテニスプロデューサー資格制度においては、テニス事業の運営・経営の実践力を身につける為のフォローアップ研修会などを定期的に行い、制度の更なる充実を図ります。職種別の各部会では、それぞれの立場において自己研鑽に磨きをかけスキルアップするための場の提供や環境整備をしていきます。

なお、テニス事業者は日々の運営・経営において様々な課題や悩みなどを抱えております。一方ではそれぞれ

の分野で成功・発展するためのノウハウを持つ事業者も存在しておりますので、そのパイプ役としてのコンサルティング事業にも取り組みます。テニス事業者間の連携を深めると共にノウハウを提供する側にも能力開発に繋がり、より一層の業界発展に寄与するものと思います。

以上の点を踏まえ、各委員会・各部会を中心に下記事業へ積極的に取り組みます。

①人材育成事業の充実と推進

- * テニスプロデューサー資格制度の充実・発展
- * 日本テニス産業セミナー
- * TOPGUN PROJECT（経営勉強会）
- * 各部会活動（クラブ、スクール、マネージャー、コーチ、フロント）

②草の根普及活動の本格化

- * 「PLAY+STAY」の普及啓蒙活動
- * 『テニスの日』活動の発展・拡大
- * 日本テニス連合・テニス活性化委員会との連携事業の推進
- * 有明の森スポーツフェスタ・東京都知事杯有明チームテニスコンペティション等の開催

③テニスに関する各種調査の実施

- * テニス人口増減、業界動向・傾向などの実態調査

④安全・危機管理問題への取り組み

- * テニス事業所に於ける安全・危機管理意識の啓蒙活動
- * テニス事業所に於ける事故事例の実態把握と対応策の検討

⑤指定管理者制度への取り組み

- * 既運営施設に於ける成功事例の構築
- * 指定管理者制度に関する勉強会の開催
- * 会員の指定管理業務進出へのサポート

⑥加盟会員の増強活動

- * 正会員の組織化率拡大
- * 賛助会員の拡充

その他、従来の継続事業へも全力で取り組み、サービス産業としての位置づけを自覚して業界のレベルアップと事業者を始め従事する従業員等を含めた関係者の社会的地位向上を目指し、最善の努力を尽くして参りたいと考えております。

以上、本協会役員を中心に全会員一致団結の上、各種事業に取り組んでいく所存であります。

第23回定時総会ご報告



平成 27 年 6 月 16 日(火)東京都港区のメルパルク東京 4 階「孔雀」の間において、公益社団法人日本テニス事業協会「第 23 回定時総会」が予定通り開催されました。

平成 27 年度期首 201 名の会員のうち、115 名（委任状出席を含む）が出席し、滞りなく予定された議案の審議を終了いたしました。

総会は、吉田好彦常務理事の司会進行により、午後 3 時 30 分に増井範男副会長の開会の辞、その後、定款の規定に基づき大久保清一会長が議長となり挨拶、議事録署名人の選出の後、議案の審議に入りました。

第 1 号議案の平成 26 年度決算報告書（案）承認【高山義雄監事の監査報告を含む】の件は加藤潤事務局長より、第 2 号議案の第 12 期理事選任の件は議長より、第 3 号議案の入会金・会費規程改定（案）承認の件は議長

より上程され、それぞれ異議なく可決承認されました。

以上のように予定された議案をそれぞれ採択し、大西雅之副会長が午後 4 時 40 分に閉会を宣し終了いたしました。

総会に引き続き、特別講演として公益財団法人日本テニス協会の常務理事で総務・財務本部長の高橋甫氏より「テニス環境等実態調査について」のお話をいただきました。

定時総会終了後、引き続き別室にて行われた「懇親パーティ」には、多数の関係者のご出席をいただき、和やかな雰囲気の中、無事進行いたしました。「第 23 回定時総会」に関わる事項につきましては議事録をご参照いただき、ご不明の点は役員もしくは事務局までお問い合わせください。



平成27年度 事業計画書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)



1. テニス事業に関する調査及び研究（定款第4条第1号関係）

テニス事業者を代表する団体として、テニス市場に関する情報集約を推進して、全国のテニス事業者や事業所の基礎資料の作成のほか、会員事業所におけるデータ管理等を通じて、客観的かつ信頼性の高い情報の蓄積を図り、国民に身近なスポーツであるテニスの事業運営に関する情報を広く社会へと発信いたします。

ア. テニス事業に関わるデータ管理業務の充実・強化【総務委員会】

テニス事業の動向変化等を詳細に把握し、テニス事業の将来の事業展開への参考や新規参入検討企業、大学等研究機関、メディアなど外部からの問合せにも対応することを目的に、全国のテニス事業に係わる種々の実態把握を行います。

なお、集計データは広報紙やホームページなどを通じて施設利用者を含め広く公開をいたします。

イ. 環境問題への取り組みに関する調査及び研究【総務委員会】

人々の健康と密接な関係にあるスポーツ事業者として、地球環境の保全に向けた各種活動には積極的に参画して参ります。「チャレンジ25キャンペーン」への具体的な取り組みとして以下の項目について調査及び研究を行います。

①「砂入り人工芝のリサイクル」

使い古された砂入り人工芝コートは、従来産業廃棄物として埋め立て処分となり、1面あたり約16トンが埋め立て処理され、産業廃棄物の最終処分場については全国的に数年で満杯になると予想されております。今後も増加傾向にある砂入り人工芝コート処分については環境保全という視点から我々はこの問題に真剣に取り組めます。本協会といたしましては、砂入り人工芝コートを産業廃棄ではなく、砂と人工芝を分離して砂は砂としての再利用、人工芝はサーマルリサイクルや他目的での再利用等を行い、廃棄物を一切出さないゼロエミッションを目指した「砂入り人工芝のリサイクル事業」を推奨し、引き続き更なる研究を続けていきます。

②「テニスボールのリユース」

使い古されたテニスボールは、机やイスの脚に取り付けることにより騒音が吸収されることから、NPOグローバル・スポーツ・アライアンスと連携し全国の小中学校などへ寄附をする「テニスボールのリユース活動」を推奨し、今後も継続してまいります。

ウ. テニス事業に関わる租税及び経営に関する調査及び研究【税制委員会】

テニス事業に関わる家賃・地代（売上対比）などの租税負担の実態や売上の増減、経費の内訳比率比較など経営の現状を把握する調査と研究を年に1回アンケート（郵送）方式で行います。

なお、集計データは広報紙やホームページなどを通じて施設利用者を含め広く公開する予定であります。

エ. 安全・危機管理に関する調査及び研究【安全委員会】

テニス施設内における現状の安全管理や事故事例等の調査を行い、事故に対する事前準備や事故後の対応についての指針を作成するとともに広報誌やホームページなどを通じ、安全および危機管理の意識向上・啓蒙を目的に各種安全管理ツールや安全管理通信として公開していきます。また、年間1～2回開催の安全・危機管理セミナー等でも調査研究結果を発表する予定であります。

オ. 広報紙「JTIA News!」の編集と発行【広報委員会】

広報紙「JTIA News!」を下記のスケジュールにて発行し、各種調査及び研究資料の公開や国民に身近なスポーツであるテニスの事業運営に関する情報を掲載するなどして活動を進めていく予定であります。

- (1)「JTIA News!」VOL.67号は2015年6月に発行予定
- (2)「JTIA News!」VOL.68号は2015年9月に発行予定
- (3)「JTIA News!」VOL.69号は2015年12月に発行予定
- (4)「JTIA News!」VOL.70号は2016年3月に発行予定

カ. ホームページ・メールマガジンの運用【広報委員会】

各種調査及び研究資料の公開や国民に身近なスポーツであるテニスの事業運営に関する情報の提供を目的とし、ホームページとメールマガジンの運用を行い、情報化社会への対応を進めていきます。

2. テニス事業に関する優秀な経営者並びに管理者の養成及び資格認定（定款第4条第2号関係）

国民の健康とスポーツ振興のため、テニスビジネスに携わる者の資質と能力の向上を図るとともに国民生活の向上に寄与すべく、テニスを業とする優秀な経営者並びに管理者育成の促進と指導体制を確立いたします。

ア. テニスプロデューサー資格制度の充実【資格委員会】

テニスを業とするものの中には、労務管理に対する認識不足や脱税行為をするなど法令を遵守しない者、安全管理体制が整わずに営業行為を行う者などが後を絶たない現状があり、国民生活の安心と安全を守るために健全なテニス事業を行うための人材を育成することを目的とし、テニス事業に関わる者が各種の専門的な知識を得て健全で適正な経営を行うことが、国民の利益に供するとの観点から、テニス事業に関わる経営者および管理者の

資質と能力向上を目的に9科目（テニス基礎知識、顧客管理、財務管理、安全管理、施設管理、労務管理、マーケティング、イベント・商品販売、人材育成）のテキストを作成し、年1回の講習会・試験を実施いたします。

また、資格取得後の更なる資質と能力の向上を図るために有資格者限定の講習会を開催いたします。

3. テニス事業に関するセミナー、研修会等の開催（定款第4条第3号関係）

テニス事業のオーナー、マネージャー、コーチ、スタッフ等の、テニス事業に携わる者の資質向上と発展を図ることにより、テニスを通じて国民の心身の健全な発達を図ることを目指し、様々な内容のセミナー・研修会等を実施いたします。

ア. 日本テニス産業セミナーの開催【研修委員会】

テニス事業の事業者ならびに従事者の資質向上を図ることにより、テニスを通じて国民の心身の健全な発達を図ることを目的として、学識経験者、有識者による講演をはじめ事業者の事例紹介等により、管理運営の改善、経営基盤の安定、現状の把握と対策の検討を行う「日本テニス産業セミナー」の開催を予定しております。

イ. 経営勉強会の開催【研修委員会】

テニス愛好者にとって魅力ある事業経営を行うため以下の経営勉強会を実施いたします。

①「TOPGUN PROJECT」

テニス事業以外の経営者・管理者、他スポーツ関係者の講演やテニス事業者の事例紹介、人材育成や利用者への接遇に関する実践的なグループワークなど二日間の開催をいたします。

②経営・運営に係わる勉強会・研修会

テニス事業者の資質向上と発展を目的に、テニス事業者や異業種の経営者・管理者からの事例紹介等による勉強会や研修会を定期的に開催いたします。

ウ. 安全・危機管理セミナーの開催【安全委員会】

テニス事業に関わる重要な安全管理や危機管理について、リスクマネジメントや法律の専門家による講演や、具体的事例や各種ツールの紹介、心肺蘇生法やAEDの講習などの安全・危機管理セミナーを開催いたします。

エ. 部会別勉強会の開催

各部会（クラブ部会、スクール部会、マネージャー部会、コーチ部会、フロント部会）において、テニス事業関係者の職位別セミナー・研修会・勉強会を、有識者や各分野の専門家による講演や、グループワーク形式などの手法で定期的に実施いたします。

①「後継者の会」の開催【クラブ部会】

クラブ部会では、テニスクラブビジネスを長く存続させるために、経営者の世代間交流を図ると共に、クラブ経営者の情報交換および実践学習の場を提供して

いきます。本年度も「クラブ後継者の会」を中心に、クラブ経営の事例研究会や交流会を開催し、全国のテニスクラブ経営者およびその後継者のネットワーク作りを目指し、研究会を年に3～4回、テニス親睦会を年に1～2回開催する予定であります。

②スクール経営者の勉強会・情報交換会の開催【スクール部会】

国内経済環境が厳しいと言われる状況をいかに克服して事業を発展継続させるのかを目的に、スクール経営者を対象に実情に即した意見交換や事例紹介など、種々の情報を収集し今後の事業の発展に繋がるような勉強会を年2回程度開催する予定であります。

③マネージャー（事業部長・支配人等）の勉強会・情報交換会の開催【マネージャー部会】

テニス事業におけるマネージャー業務の内容について、マネージャーから代表者となった方の経験談なども伺い、それぞれの事業所で行っている事を体系的に整理や分析を行い、先進的な取り組みをしているマネージャーが日々行っていることについての情報交換をすることなどから、マネージャーとしての資質向上を図り、業界の発展に寄与する勉強会・研修会を年3～4回ほど開催する予定であります。

④コーチ対象講習会・勉強会・情報交換会の開催【コーチ部会】

テニスコーチのスキルアップを目的に、ジュニアの育成強化、テニスの普及、サービス業としてのノウハウ、事例紹介、異業種での体験会など各種の講習会・勉強会・情報交換会を年4～6回ほど開催する予定であります。

⑤フロントステップアップアカデミーの開催【フロント部会】

テニス事業に於けるフロント業務は年々その重要性が増しております。フロントの皆様が日頃から悩んでいることへの解決の糸口など、これからの業務に役立つ情報提供を目的に勉強会・研修会を年4回ほど開催する予定であります。

4. テニス事業に関する普及及び啓発（定款第4条第4号関係）

児童や青少年を対象としたテニス等の体験活動を開催することで、スポーツを通じた健全な育成のきっかけを創出します。また、一般向けには単なる試合ではなく、普及と振興を目的とした大会を実施することで、生涯スポーツ社会の実現に貢献していきます。

ア. キッズ&ジュニアテニスカーニバルの開催【普及委員会】

東京都オリンピック・パラリンピック準備局の後援事業。テニス未経験者・経験者の子供達により楽しいテニ

ス体験が出来る場を提供する事をテーマに年1回、未就学児より中学生までを対象(約250名)としたテニス無料体験会を有明コロシアム・センターコート(キッズコート10面)と有明テニスの森公園テニスコート9面に開催し、テニスの普及を図ります。

イ. 東京都知事杯有明チームテニスコンペティションの開催【事業委員会／普及委員会】

東京都オリンピック・パラリンピック準備局の後援事業。有明テニスの森公園48面のテニスコートを使い144チーム(約1,080名×2日)が参加する大会です。個人戦が中心のテニスにあって、団体戦と言う形態による国内最大規模の大会を年1回開催します。2日間にわたり単に試合だけではなく、チームワークの育成を図り、試合に負けてもプロ選手に挑戦・クリニックなど各種アトラクションでスポーツの楽しさ等を伝えるイベントも開催し、スポーツの振興に寄与する事業を開催いたします。

ウ. 有明の森スポーツフェスタの開催【普及委員会／事業委員会】

東京都オリンピック・パラリンピック準備局との共催事業。有明テニスの森公園と有明コロシアムを使用し、スポーツ(テニス大会・テニスクリニック・ソフトテニス・車いすテニス・バドミントン・走り方・体力測定・ブラインドサッカー・親子体操・フラフープ・その他ニュースポーツなど)に触れ合う機会をつくり、子どもが「スポーツ好き」となり、体力向上のきっかけとなるイベントを開催いたします。主に児童、青少年を対象とした無料体験会を実施しますが、大人もスポーツを体験できる場を提供し、生涯スポーツ社会への参加を促します。また、障害者スポーツのイベントも実施しており、障害者の健康増進と社会参加を促進する事業として年1回開催いたします。

5. テニス事業に関する苦情処理等(定款第4条第5号関係)

ア. テニス消費者苦情電話相談センターの運営【広報委員会】

テニス事業とその周辺で発生する諸問題、消費者からの苦情に対応する、消費者苦情電話相談センターを運営いたします。それぞれの事例に対し専門家に相談をして解決を図り、その情報を共有し将来のテニス事業活動に活かすようにいたします。

6. テニス事業に関する内外関係機関等との交流及び協力(定款第4条第6号関係)

テニス事業者を代表する団体として、その他のテニス関連団体やテニス関連会社と、振興・普及を主な目的とした種々の交流、協力を行います。また各地域での普及、振興活動に対しては支援・後援等を行います。これらの活動を通じて、広く社会的なスポーツ振興に貢献する事業として取り組んでいきます。

ア. テニスの日推進協議会への参画【普及委員会】

(公財)日本テニス協会、(公社)日本テニス事業協会、(公社)日本プロテニス協会、日本女子テニス連盟をはじめ15団体で構成。テニスの日推進協議会は、他のスポーツ団体に先駆けて1998年9月23日「秋分の日」を『テニスの日』と定め、テニスの普及、発展を強力に推進するための諸行事を実施することといたしました。『テニスの日』を制定することでテニスの楽しさ、おもしろさをさらに多くの人たちに広めて、健康で明るく生き甲斐ある社会造りに寄与し、それと同時に世界の競技会で活躍できる選手を数多く育て、競技を観戦するなかからテニスへの共感を高めていくことを目的に、年1回有明テニスの森公園で実施する「有明メインイベント」、47都道府県で実施する「共同イベント」、全国約400箇所で開催する「個別イベント」を開催いたします。

イ. 日本テニス連合への参画【普及委員会】

(公財)日本テニス協会、(公社)日本テニス事業協会、(公社)日本プロテニス協会、日本女子テニス連盟で構成され、日本のテニス界として4団体に横断的に存在する問題で、日本のテニス界をより強力に推進して行く為には統一して行くべき制度、問題点等を公式に取り上げて審議し、その解決案を策定する機関として結成されました。

具体的な課題としては「1. 選手、コーチの資格制度の統一化を図る」「2. 法令の遵守、倫理問題の徹底と資質の向上を図る」「3. 強化・普及に関して、より広範囲な活動が出来るような組織体制を作る」以上のテーマに於いて「日本テニス連合」のトップ会議で審議して解決案を策定いたします。

昨年度に引き続き「テニスの普及」に関した分科会でITF(国際テニス連盟)が推奨する「TENNIS PLAY+STAY」をテニス界に広める活動を行っていきます。

ウ. テニス活性化委員会への参画【普及委員会】

2008年4月より、テニス用品メーカー(9社)とテニススクールやテニスクラブ事業者が集い、「日本のテニス界を他のスポーツに負けないメジャースポーツに盛り上げたい」「テニス人口を更に拡大したい(ラケットを持つ人を増やしたい)」「強い選手をもっと輩出し世界で活躍して欲しい」との熱い想いを込めて、『テニス活性化委員会』を結成しました。「テニスに関する意向調査」を行ったほか、地道な草の根活動を行いつつ、テニス活性化委員会のスローガンを「始めよう！続けよう！もっとテニスを！！」と決め、「テニススマイル(<http://www.tennismile.jp/>)」のウェブサイトを開設し、テニス愛好者やテニス事業者に役立つ情報発信を継続していきます。

7. テニス事業に関する各種商品・サービスの販売及び斡旋事業(定款第5条第1号関係)

テニス事業に関わる各種関連用品・物品や施設総合補

償の販売や、砂入り人工芝コートのリサイクル事業等のサービスの斡旋及び販売をいたします。

ア. 各種テニス関連商品の斡旋及び販売【事業委員会】

- (1) “テニス施設総合補償制度”の斡旋
- (2) テニスクラブ・テニススクール管理運営ソフト
“ペガサス”“サービスエース”の斡旋
- (3) テーピングテープ“ターボテックス”の斡旋
- (4) “JTIA オリジナルスクールのぼり”の販売
- (5) “オリジナルテニスティッシュ”の斡旋
- (6) AED（自動体外式除細動器）の斡旋
- (7) クレジット決済システム“リターンエース”の斡旋
- (8) “砂入り人工芝リサイクル”の斡旋

8. 指定管理事業（定款第5条第2号関係）

ア. 指定管理事業の運営並びに勉強会の開催【事業委員会】

平成17年度からスタートした指定管理運営に関して、各自治体に於ける施設の活性化とテニスの普及を目的に自主事業等を行っております。また、新規参入を促進するために最新の事例紹介などを含め「指定管理者制度」に関する勉強会の開催を予定しております。

9. その他の事業（相互扶助等事業）（定款第5条第3号関係）

会員及び賛助会員の拡大のための活動および情報交流会や懇親会を開催します。

ア. 消費者育成イベント等の開催及び後援【総務委員会】

テニス産業界の活性化のために、既存の施設や指導者を有効に利用して、テニス愛好者の拡大と新規需要の創出を即効的、効率的に行います。消費者参加型のイベントを展開し、より多くの国民にテニスを体験する機会を提供することで、地域や消費者に密着した産業として定着を図ります。国民生活のゆとりと豊かさに寄与・貢献する産業として、テニス事業の安定的成長、振興を目指します。本年度も消費者育成イベントの開催および関連団体等の同種イベントの後援をいたします。

イ. 会員数の拡大推進活動【総務委員会】

本協会はテニス事業の社会的地位の向上を目的に活動している団体であることを非加盟テニス事業者に周知し、テニス事業者が困った時に相談出来るような体制を整え、テニス事業者に役立つ情報提供を行い、積極的に会員数の拡大を推進していきます。

ウ. 地区組織活性化の推進【総務委員会】

各地区組織の活性化を推進するために、地区組織が開催する「消費者育成のための大会ならびに講習会」「新規需要創出のための大会ならびに講習会」「管理者・指導者の資質向上を目的とした大会ならびに講習会」等の事業に対する支援を行います。

エ. 賛助会員意見交換会の開催【総務委員会】

本協会のテニス界において果たすべき役割が年々増してきております。そこで日頃よりご支援を頂いております賛助会員の皆様方との懇親をより深める会を開催いたします。

オ. テニス事業を取り巻く税制勉強会の開催【税制委員会】

現在のテニス施設経営を取り巻く税制は非常に厳しい状況にあり、事業者自らも自己啓発や研鑽に努め、現在の税制に対する理解と対策を講じていく必要があります。テニス事業に関連する税制や、大きな問題でもある事業継承などに焦点をおいて、講演や事例紹介を中心とした「税制勉強会」の開催を予定しております。

カ. 雑賀杯日本テニスチーム大会の開催【事業委員会】

テニス事業所チーム対抗戦を開催し、テニスクラブメンバーやスクール生などへ競技参加目標を掲げ、競技に参加できる環境を提供し、テニスを通じて地域間交流を促進しながら個別テニスクラブ・スクール及び業界組織の結束及び事業の活性化を促進させることを目的として開催いたします。

キ. 会員サポートプロジェクト【会長直轄】

テニス事業に於ける様々な課題に対し、それぞれの専門家を紹介して問題解決を図り事業の活性化や円滑化を行う事を目的に事業を推進する予定です。



有明の森スポーツフェスタ 2015 開催報告

普及委員長 新堀 丘

今年も4月29日（昭和の日）に有明の森スポーツフェスタが開催されました。

今回の開催で5回目となり、スタッフにも良い意味での慣れが出てきているようです。しかしながら毎年新たな取り組みと新規種目が増えていくので、事務局が準備に大忙しなのは毎年のことで変わりません。慣れ以上に新たな取り組みの量が多く追いつかないという状況です。

昨年も入場者が多いと感じていましたが、今年は更に多数の方が足を運んでいただいたようで、各種アトラクションに行列ができていました。スタッフが更に工夫して行列を改善するように努めていくことが求められています。

何分にも手作り感満載、手弁当で実施という感は否めませんので、事業協会としても収支は勿論ですが、より運営能力を高めるには？と努力を続けていく所存です。

今年からの新種目ボルダリング、スラックライン、ランニングバイク、ダンス&ミュージックなどがあり、どれもとても素晴らしいものでした。

個人的に興味をもったのは【ボルダリング】です。入門者用の物でしたが身体のバランス、力の入れ具合というか力点を知る能力が自然に身につくような気がしました。子供たちを中心に多くの方が体験されていました。私もチャレンジしてみようと思いましたが、身体が重くて？（笑）次の機会にすることにしました。

昨年以上にコート以外のスペースに多くの参加者がい



らしたようです。朝の芝生広場での開会式やアトラクションの時には昨年の倍は人がいるのでは？とさえ感じました。それが終日続いたことは何よりも嬉しい事でした。

錦織選手の活躍もあり、お子様連れで家族揃って参加される方が多く、「こどもテニス体験コーナー」と「てのひらけっと」のコーナーを合わせると1,500人以上の参加者がありました。久しぶりにテニスをしてみたくなってという方もたくさんいましたね。やはりスーパースターの出現は普及効果も絶大ということでしょう。

普及と強化は表裏一体です。スターの出現と地道な普及活動の両面からテニスを応援していきましょう。

コロシウムで開催されたバドミントンは昨年に引き続き、あの【オグシオ】の小椋久美子さんが講師で参加していただきました。憧れのスターを見上げるような視線で集中していた参加者の姿が印象的でした。昨年以上に？強く美しい方でした。

事業協会とメーカーさんで殆どのアウトコートイベントを担当しましたが、参加者増に引っ張られるようにスタッフの熱気もヒートアップ！各メーカーさん所属のプロ選手も例年以上の熱い指導をしてくれたようです。

お子様から大人まで、初心者から上級者まで、すべての人が楽しめるイベントになりつつあると手応えを感じていますが、まだまだ至らない点多々あると思います。常にレベルアップしたイベントに育てていくことが運営側の使命と思い、来年も全力で取り組むつもりです。

最後にスタッフの皆様、各スクール事業者の皆様、東京港埠頭株式会社の皆様、そして東京都オリンピック・パラリンピック準備局の皆様、すべての関係者の方にこの場を借りて感謝申し上げます。有明の森スポーツフェスタを更に都民に支持されるイベントにしていきたいと思います。

来年もよろしくお願いします。ありがとうございました。





イベント開催会場募集!



テニスの日推進協議会

<http://www.tennisday.jp>

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館4階
公益財団法人 日本テニス協会 内
TEL.03-5738-0977 FAX.03-5738-0978
e-mail: info@tennisday.jp

テニスの普及と発展を目指して9月23日「秋分の日」を『テニスの日』と制定し、今年で18年目を迎えました。今年も9月23日を中心に、全国各地でテニス愛好者も未経験者も大人も子供も参加できる様々な「テニスの日イベント」が開催されます。あなたのクラブ・スクールを「テニスの日」個別のイベント会場にしませんか?

9月23日に限定する必要はありません。都合がよい日に、無理なく開催して下さい。「テニスの日週間」「テニスの日月間」でも大歓迎です。

全国津々浦々を“テニス”で盛り上げましょう!!



【イベント開催内容の例】

- ・初心者、初級者、ハンディキャップ、キッズ、ジュニア 親子、一般、シニアを対象としたテニスクリニック
- ・100万人ボレーボレー
- ・親睦テニス大会
- ・テニスの日記念トーナメント
- ・サービスの当て
- ・スクール無料体験レッスン
- ・テニスフェスティバル
- ・スピードガンコンテスト
- ・コート開放/割引 など

指導者資格のポイント取得対象となります!

イベント開催登録会場で当日のコーチや運営などに協力いただいた(公財)日本体育協会公認指導者、(公社)日本プロテニス協会認定プロコーチは次の通りポイント取得が可能です。

- *日本テニス協会登録のテニス指導者は1ポイントの実習ポイント
 - *日本プロテニス協会登録のテニス教師は2ポイントの研修ポイント
 - *日本プロテニス協会認定プロコーチは2ポイントのJPTAポイント
- ポイントの申請方法は、登録団体のJTA、もしくはJPTAへご確認ください。

2014年も
10万人達成!!

テニスの日名物企画

「100万人ボレーボレー」

今年の目標は「めざせ! 15万人ボレーボレー」です。

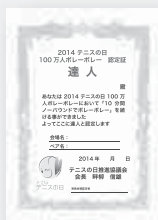
- 基本ルール 『三段・五段・達人』を認定!!
とにかく「ノーバウンドで何分続くか」のみ
- 時間を限定して挑戦。認定表彰を目指しましょう。

< 認定ルール >

3 分間達成で三段を認定

5 分間達成で五段を認定

10 分間達成で達人を認定



※三段・五段・達人をテニスの日 WEB サイトで発表

※認定証は WEB サイトからダウンロード可能

- 「100万人ボレーボレー」開催セットをご用意しています。今年も「ベビーステップ」バージョンがあります!

- オリジナルイラスト画像を公式 WEB サイトからダウンロードしてボレーボレー開催告知ポスターや認定証、表彰状も作成できます。

- 早撃ちボレーボレー
とにかく「何回行き来できるか」のみ

- 1 分でも 2 分でも...レベルに合わせて時間は調整して下さい。

- 1 分間「初段」ルール

- 1 分間達成で初段表彰も推奨します。

※WEB サイトでの発表はしませんので、各会場で表彰を行って下さい。

※初段表彰状は公式 WEB サイトからダウンロード可能です。

- その他 オリジナル・ルール

- オリジナル・ルールも大歓迎です。レベルや環境に合わせて最長時間を競ったり、回数を決めて何分で出来るか...など、色々なアイデアでチャレンジしてみてください。

- 9月23日以外でも構いません。ご都合の良い日程で企画して下さい。「テニスの日週間」「テニスの日月間」なども奨励しています。

- レッスン間の空き時間やウォーミングアップ時間を利用するなどスクール生の挑戦やクラブ内で楽しむ企画が毎年増えています。



イベント登録・グッズ注文は公式 WEB サイトから <http://www.tennisdaily.jp>

個別イベント表彰を目指そう！

表彰は【個別イベント表彰】にご応募いただいたイベントが対象となり、各種表彰ポイントに応じたチャームが賞品として贈られます。下記以外にも内容に応じた表彰をご用意していますので、アイデア溢れる企画のご応募をお待ちしています！

表彰タイトル	ポイント数	チャーム数
個別イベント大賞	10,000	100 個
ボレーボレー大賞	5,000	50 個
特別賞	2,000～3,000	20～30 個
新人賞	1,000	10 個

※賞品となるチャームは、2016 年製となります。
発送は 2016 年 5 月頃の予定です。

2015 オリジナルイラスト画像 使用について

「ベビーステップ」テニスの日オリジナルイラスト画像を各会場のイベント開催告知や POP にご利用いただけます！

※画像使用にあたっては事務局への申請が必要となります。



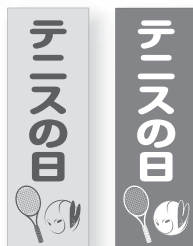
2015 イベント開催特典



- ポスター (B2)・チラシ (A4) は、チャーム購入数に応じた上限範囲内でご希望数を無料で送ります。

新規登録会場限定特典

- 特大横断幕 (バナー) 90cm×480cm を 1 枚無料進呈
- のぼり「黄・緑セット」はチャーム購入数に応じた上限範囲内でご希望数を無料進呈



ご登録いただいたイベント情報は随時、テニスの日公式 WEB サイトでご紹介いたします。イベント開催が難しい場合は、ポスター・チラシの掲示にご協力下さい。

チャーム販売中

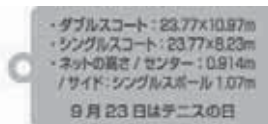
卸価格 1 個 250 円
(参考売価 1 個 350 円)



【チャーム活用例】

- 350 円で販売し、利益をイベント等に活用
- 体験レッスン参加者へプレゼント
- 大会、ボレーボレー大会等への参加賞や景品として

チャームの裏面には
コートサイズやネットの高さが
印字されています。



2014 個別イベント表彰

※詳細はテニスの日 WEB サイトをご覧ください。

- ◆ ボレーボレー 10 周年特別大賞
ネオインドアテニススクール西新井
- ◆ ベビーステップ賞
株式会社スポーツクリエイト
- ◆ 個別イベント大賞
インドアテニスセンター
ウイング札幌ウエスト校
- ◆ テニスの日大賞
香川でテニス！FSP (ファーストショットプロジェクト)
- ◆ 個別イベント特別賞
テニスポート波崎 (MIPTOPグループ波崎事業所)
メガロスインドアテニススクール全10店舗
ウイニングショットあすと長町校
(有)コスモテニスカレッジ (東京グリーンヒルズ会場)
- ◆ ボレーボレー特別賞
TOPインドアステージ相模大野
TOPインドアステージ氷川台
株式会社ツカダプランニング11会場
- ◆ テニスの日特別賞
柏の葉インドアテニススクール
福井市美山テニスクラブ
- ◆ Tennis Express 賞
Kポイント・テニスコミュ なんじゃもんじゃ
- ◆ アイデア賞
パブリックテニス小倉
- ◆ タイアップ賞
アルドールテニスステージ幕張新都心校
TOPインドアステージ津田沼
- ◆ 新人賞
千歳テニス協会
ITCうづぼテニススクール
コスモテニスカレッジ
セルティステニススクール





第37回 クラブ部会・後継者の会 開催報告

クラブ部会 部会長 宮古 昌

日 程：平成 27 年 4 月 8 日(水) 15:00～17:00

場 所：(公社)日本テニス事業協会 会議室

参 加 費：500 円 (税込)

参加者数：13 名

テ ー マ：『新年度のテーマについて』

【問題の一例】

- 1) クラブの収入を増やす方策
- 2) プロジェクト活動
- 3) ケーススタディー
- 4) その他

プロテニス界では錦織選手が世界を舞台に大活躍しマスコミ関連に取り上げられ、世間では錦織ブームと言われていますがテニスクラブの経営的に見た場合その影響度は？また、中期経営計画的に見た場合の問題点。あるいは新しい発想のアイデアや近況報告などについて意見交換を致しました。その発言要旨を以下にまとめました。

クラブー 1	在籍会員の高齢化が他のクラブより進んでいる。平均 67 歳位である。 やめていく理由は、体調不良（関節が動かない・眼病等）、家族の介護などですが、新しい会員が入ってこない。2 年間で 20 名位やめていますが、年間 400 万円位の減収になっている。光熱費関連の値上げなども有り結構厳しい。 NHK より番組収録の申し込みが有り 100 分番組が放映される。タイトルは『奇跡のレッスン（テニス編）』
クラブー 2	錦織選手の影響は、スクールの募集に出ている。キッズ教室に通常 5～6 人位のところ 25 名の応募があった。ジュニアの選手クラスを開設したらそこでも他から移ってきている。一般のスクールや会員への影響は少ない。 3 月末に圏央道が開通し湘南や埼玉方面への交通の便が良くなり、加えてショッピングモールやリニアモーターの駅も近所に予定されプラス傾向の情報が多い。
クラブー 3	圏央道建設の為、6 面から 4 面に変更させられた。大会や試合など年間 1 万人位の集客をしている。錦織の効果も見られ、コート面数は減少させられたが、交通の便が改善され良い影響が出ている。 5 年後 10 年後にクラブをどう存続させるか？また、相続の問題もこの会に参加しながら勉強していきたい。5 年後の東京オリンピックでも良いチャンスだと思うので何か良いプランを実行してみたいと考えている。
クラブー 4	東京外環道路が 6 年後に出来上がるので待ち遠しい。1 年位は我慢の年と言える。 スクールは錦織効果で 10%位伸びている。会員については現在 150 名位いるが 1 年に 20 名位減少している。スクールから会員へ誘導しているが、新しい会員と古い会員が交わらないので困っている。コート 5 面で、3 年間で 150 名から 250 名にしたいと考えているが、ターゲットは 45 歳前後の女性に絞っている。
クラブー 5	コート 3 面でスクール中心に展開している。近頃は近隣でテニスコートが無くなってきているので頑張り所である。 錦織効果は、小学校低学年ではっきり出ている。PLAY + STAY をどう取り入れるかが課題である。設備的には LED 照明を導入しその効果はどの位か確認中。又、緑化スペースに広場を作り生徒のコミュニケーション UP を計画中。 その他には、スタッフの人件費と受講料の関係が経営課題として残る。

クラブー 6	会員は減少傾向であるが、インドアスクールは増えている。 スクール開講から 10 年経ち従業員の意識のマンネリ化が見られるので意識改革を行いレベル UP を検討中。5 月には 10 周年記念行事を計画しており良い機会と思っている。 最近近隣にマンションが建設中でマーケットの拡大につなげたい。
クラブー 7	会員は年齢の高齢化で減少傾向、特に土日にその傾向が強く出ている。反面、平日の女性会員に増加傾向が見える。錦織の影響と思われる現象としてジュニアのレッスンは好調である。設備的には照明の LED 化を申請中。 日本テニス事業協会の各種研修で学んだ事を積極的に活用し社内に展開中である。尚、4 月から大会運営を企画しておりネットエントリー中心で進めていこうと意欲的に考えている。
クラブー 8	営業時間の変更を旧) 9 時～日没を新) 9 時～18 時 (平日) 9 時～18 時 30 分に変更しナイターでスクールを実施。照明も LED に切替順調。尚、スクールは委託で行っている。トレーニングのエリアを現在作成中。雰囲気を変え売上 UP につなげたい。
クラブー 9	テニスコート 8 面で、売上高は会員 (50%) スクール (25%) 大会 (15%) 商品 (10%) のクラブである。会員が 60 歳になり体調の変化を訴え退会する人が増加している。 スクールは委託から自営に切り替える。ジュニアは伸びているが、一般は伸び悩みである。大会は週に 1 回実施しているがオープンクラスの集まりが悪い。比較的レベルの低いクラスの方が集客が来てきている。 4 月に保育園をオープンした。これからは、固定資産税について知識を増やしたい。
クラブー 10	目立った減少は感じていなかったが、事務局へ提出した調査票を確認したところ減少していたのに気が付いた。土日はそこそこ会員が集まるが平日にコートが埋まらない。土日が増えたのは企業のサークル活動を取り込めた為と思われる。 平日にもっと人を集めたい。クラブの個性をもっと前面に出せる工夫をしてトライしてみたい。
クラブー 11	築 40 年のクラブハウスを取り壊し建て直した (新築)。クラブ会員が 400 名を切り 399 名になった。会員の減少傾向は他と変わらないが、スクールは上り調子である。会員を増やす施策として定年 (60 歳) の人をターゲットに狙いを定めている。 テニス以外にもスポーツ吹き矢やスラックライン等も取り入れ経営資源の拡大化を図っていききたい。加えて地域の中学校のクラブ活動との連携 (NKH で取り上げる)、テニス部顧問の教育などを通してテニス人口の増加に寄与する。
クラブー 12	クレー 4 面、オムニ 2 面を会員が利用しているがクレーに人が集まり、オムニが空き傾向になっている。年齢的には、これから高齢化の影響が出てくると思われる。直近の問題ではないが、近い将来他のクラブと同じ傾向になるとと思われる。
その他	A テニスクラブではソフトテニスのレッスンを開設し、80 名位の生徒を集めている。中学生はソフトテニスの需要が大きいので発想の転換で一つのビジネスモデルにならないか？ 当初は、選手コースみたいな上級クラスではなく、練習会的なところから始めてみてはどうでしょう？

以上のような発言が皆さんから有りましたが、次回からはこの発言の中から問題点を掘り下げていきたいと考えます。

次回へのヒント

『会員制テニスクラブを掘り下げる』

- 1) 会員制度は今の時代に合っているのか？
- 2) 何故会員にならないのか？
- 3) ターゲット年齢は？ (45 歳女性 60 歳定年)
- 4) 公営コート対策
- 5) ソフトテニスとどう関わるのか？
- 6) 他の種目との関わり



第9回スクール部会 報告書

スクール部会 部会長 蒲生 清

3月19日(木)、第9回スクール部会を参加者14名にて開催いたしました。

参加者の自己紹介の後、最近の錦織選手の活躍によるスクールへの影響を尋ねたところ、前回(昨年11月開催)では首都圏のスクールのみジュニアが増えているようでしたが、今回は全国各地のスクールまで波及しているようです。

第一部では「人財育成を考える」という、テニススクール運営では最も重要で、テニスプロデューサーの資格試験では最大の難関とされるテーマで情報交換を行いました。特にコーチの育成に関しては、以前のような社会人としての経歴のあるコーチやテニス技術や知識を持つコーチではなく、若くて社会経験やテニス経験の少ないコーチが多くなり、育成に苦勞しているようです。またコーチ不足の問題も深刻のようでした。フロントの育成でも、コーチと同じような問題が発生しているようです。参加した当事者の管理者の育成に関しては、施設管理の難しさや、異業種交流の必要性などが紹介されました。

第二部では「情報交換会」が行われ、他地域のスクールとのレッスンの相互振替などが紹介され、関心を集めていました。これからもスクール運営に密着した内容でスクール部会を開催しようと考えております。





第17回コーチステップアップアカデミー 開催報告

コーチ部会 副部長 西潟 隆生

日 時 平成27年 4月14日(火) 14:00~17:00
会 場 公益社団法人日本テニス事業協会 会議室
内 容 「PLAY+STAY 事例紹介」、「PLAY+STAY 情報交換会」
参加者数 46名

コーチ部会では各事業所のPLAY+STAY取り組み状況について運営形態別に事例紹介をしていただき、進化しているPLAY+STAYの最新情報を伺い、今後の取り組みの参考にさせていただきました。また、事例紹介後には参加者同士による情報交換会を行い、より多くのそして具体的な手法などを学びました。終了後、グループ毎に報告書をまとめていただいた内容を以下より紹介させていただきます。

話し合った内容

- ・ P & Sを導入しているか・名称を使用しているか
- ・ カラーボール・道具を使用しているか
- ・ スクール内で試合をしているか
- ・ 成果が出ている事例・よかった点
- ・ 問題点・課題
- ・ フリーディスカッション

【P & Sを導入しているか・名称を使用しているか】

- ・ 導入している・名称使用している 63%
- ・ 導入はしているが名称は使用していない 5%
- ・ 導入していない・名称使用していない 32%

【カラーボール・道具を使用しているか】

- ・ カラーボール・道具ともに使用 89%
- ・ カラーボールは使用しているが道具は使用していない 11%

【スクール内で試合をしているか】

●短いスパンでの開催

- ・ 2か月に1度実施
- ・ 5週目の休みにジュニア発表会という形で実施
各ボールでポイント制のランキングを付けている
- ・ 5週目を使用して実施
- ・ 1レッスンの中で10分以上試合をする時間を設けている
- ・ レッド・オレンジ・グリーン各年間12回実施
ランキングシステムで年末に上位者による試合を実施
- ・ インドアスクールの休講日に合わせて実施

- ・ 年間通して全カテゴリーで実施

●長期休み期間中などに開催

- ・ 春と夏に3日間かけて実施
2日間でタイムマッチでリーグ戦をし最終日にレベル別トーナメント
- ・ レッド・オレンジで春・夏に2回実施
- ・ 春・夏・冬に各事業所 春・夏に全事業所合同で開催
- ・ レッド・オレンジ・グリーンで定期的に実施

●イベント的な開催

- ・ レッド・オレンジ・グリーンで祝日の早朝に実施
- ・ 試合はイエローがメインなので、カラーボールはイベントとして実施

●現在開催なし

- ・ 今後行う予定

【成果が出ている事例・良かった点】

●スタッフに対して

- ・ スタッフがレッスンに対して考えること、工夫をしている
- ・ コーチが考えるようになりコーチのレベルアップにつながっている
- ・ コーチのスキルも上がった
- ・ コーチの色が出しやすい

●子供に対して

- ・ 子供達の将来性が期待出来る
- ・ 子供達の楽しそうな顔、レッスンに参加する意欲の向

上が見られる

- ・ 集中力が高まった
- ・ 意欲、戦略性が向上している
- ・ 子供達の達成感、笑顔を見る機会が増えた
- ・ 子供達が生き活きと楽しそうにプレーするようになった
- ・ 考えながらプレーをするようになった
- ・ 子供達が自ら考えプレーするようになった
- ・ GBA により子供の自主性、考える力があがった
- ・ 成功体験を増やせているのでモチベーションがあがっている
- ・ 子供達の動きが活発になった
- ・ 子供達のやり取りが多くなった
- ・ 何もしない子供が減った
- ・ 調整力が高い子供が増えてきた
- ・ 空いているスペースで勝手にやるようになった
- ・ レンタルコート借りて自主的に練習し始めた
- ・ 壁打ち等、外でもテニスをする機会が増えた
- ・ 従来型のレッスンと P & S で育った子との差が歴然としてきた
- ・ プロ選手に興味を持ち始めた
- ・ 子供達の試合へのモチベーションが高まった
- ・ 指摘が減り、問いかけが増えた

●保護者に対して

- ・ 保護者の方とのコミュニケーションが多く取れるようになった
- ・ レッスンを見ている保護者の方が体験申込みから入会

●営業的側面

- ・ フットサルスクールとの兼用でコートを使うため週4日のテニススクールだが、非常に入会率が高くなった
- ・ コミュニケーション増加で紹介が増えた
- ・ 休会するジュニアが減った
- ・ 体験に来た子供もその日からすぐテニスがで、入会率があがった
- ・ ボールのステージを変えレッスンを行うため、クラス分けがしやすい
- ・ ボールごとにレベルが分けやすく、ボールごとに大会が開きやすい

●レッスンに対して

- ・ レッド・オレンジ・グリーン・イエローと進度の段階が緩やかになりよい
- ・ レッドステージでの戦術が豊かになった
- ・ 球出しから P & S ドリルまで子供が飽きなくなった
- ・ 道具によるストレスがなくなった
- ・ 大人のクラスへのフィードバックができています
- ・ フォアハンドが両手から片手で打つ子供が増えた
- ・ コーチとの会話が増えた、発言できる雰囲気になった
- ・ レッスン中のラリーが増えた。
- ・ カラーボールでゲームすることにより成功率があがる

- ・ 体験当日からラリー、ゲームが行える
- ・ 子供達にあった指導ができる
- ・ 大会ができるようになった
- ・ 子供同士の打ち合い、試合が増えた・試合への参加率の増加
- ・ ラケットを振り回してしまう子供が減った
- ・ 子供達同士のラリーの回数が増えた
- ・ 導入が格段にしやすい・技術の習得が早い

【問題点・課題】

●スタッフに対して

- ・ 現場のレベルが追いついていない
- ・ コーチ次第になってしまうので、クオリティーの維持が難しい
- ・ 学生コーチの能力向上が課題
- ・ 若いコーチのコーチング能力不足　ただ単に打たせてしまう
- ・ コーチの力量・経験値で相当な差が出る（人間性も含め）
- ・ 個々のパーソナリティが重要になる

●レッスンに対して

- ・ P & S の段階的指導法があれば誘導できる
- ・ 型がなく自由すぎて難しい
- ・ 子供の指導者を見る目も肥えている
- ・ コーチが不在でも子供達同士でやってしまう
- ・ 統一感が出にくい
- ・ 指導感が足りない
- ・ 体験者への対応が難しい
- ・ コーチングとティーチングのバランスがうまく取れない
- ・ 多人数への対応
- ・ 風が強い際にミニネットやボールが飛ばされてしまう
- ・ 正面向きでラリーしてしまう子供が増えた
- ・ 習得度にばらつきがあり、クラス内でレベル差が発生してしまう
- ・ フォームが安定せず、レッドボールでアウトしてしまう
- ・ 低学年で極端にうまくなる子供が出たときにレベルの飛び級システム
- ・ コーチの色が出しやすい分、レッスン内容が違う
- ・ スライスだけでプレイする子を矯正するのかなど、どこまで個性を尊重したらよいのかが分からない

●導入に際しての問題

- ・ 導入当初、経験のあるベテランコーチや経営者に理解が得られなかった
- ・ スタッフが P & S に対する理解を得ることが難しい
- ・ スタッフが自分が育った環境と同じように教えたがってしまう
- ・ ボールフィード中心から GBA への変化が難しい
- ・ P & S で本当にうまくなるのか？飽きないのか？
- ・ プログラムを保護者に説明する際の説明が難しい
- ・ 保護者の方からフォーム指導へのクレーム・要望がでた

- ・保護者の方とのコミュニケーションの取り方が難しい
- ・道具の物量が足りない
- ・オレンジとイエローしかないのでグリーンボールの使用を検討
- ・体験に来た保護者に理解してもらえない時がある
- ・入会数は増えているがP & Sを導入した結果の実際の退会率が改善されてはいない

【フリーディスカッション】

●グループ内で出た質問等→それに対する意見

- ・保護者への理解を得る取組
 - フリーイベントの開催
 - 隣のコートで保護者にまったく同じレッスンを実施
- ・コーチングスタッフの育成
 - 興味を持ったスタッフから徐々に浸透させる
 - 施設のトップに立つものが強く方針を定めて惹きつける
- ・スタッフへの研修
 - 見て真似してもらう事とレッスン後のフィードバックを繰り返すこと
 - 統一のテストを作成しレッスン技術の均一化を図る
 - コーチを各レベルにまんべんなく配置し進級イメージを持たせる
- ・フォーム形成について
 - 振れなくなる子供には…振らざるを得ないシチュエーションを作る
 - 逆にたくさん飛ばした子供の勝ちとして、振る状況を作り出す
 - フィニッシュポーズだけを意識させる
 - 状況によっては素振りをしてよいのでは
- ・どんな打ち方でもよいのか？
 - P & Sなので基本的にはフォームのことはあまりない
 - スクールによってはフォーム矯正クラスがあり問題ない
 - 子供は気にしていないが、保護者がフォームを気にしすぎている感じがする
 - 本来の楽しむという目的から離れるケースがある
- ・片手バックはありかなしか
 - 特にダメという指導はしない
- ・従来の教えるレッスンとGBAレッスンの割合
 - 基本はGBAレッスンだが狙ったところに飛ばすためのフォームなど矯正はボールフィードで
- ・レベルアップの基準の難しさ
 - 身体の高さが判定の基準というスクールが多く、工夫してレベルアップカードなどを付けているスクールもある
- ・レベル差対応について
 - グリーンのクラスでもレッドを使ったメニューを入れてクラス内の差を縮める
 - レベルが高い子をダウンサイジング出来るか？レッドでも目標を持たせる

クラス内で子供の習得度によって目標を変える

出来る子には更なる課題を与えるべき

- ・これからP & Sの考え方でラリー中心のレッスンにするのか従来どおりの球出し中心でレッスンをしていくのか

→ラリー中心ならボールとの距離感、ラリー力がつくがフォームがばらつく

球出し中心ならフォームはきれいだが、ラリーすると全然続かない

どちらがよいのかは結論がでない

- ・年齢や性別で見たとき、低学年の男女、高学年の男子はわいわいテニスをするが、高学年の女子の一部が同年代と固まってしゃべってばかり

→無理にみんなでテニスさせるのではなく、その同年代同士でテニスさせる

●グループ内で出た意見

- ・P & Sのプログラムはとても素晴らしい
- ・テニスをスタートさせるツールの一つとして使うべきだと感じる
- ・従来のレッスンスタイルとP & Sの良いところどりし、オリジナリティーを検討している
- ・コーチは辛抱強く見守ること、環境を与えることが仕事であると感じる
- ・関西はP & Sが遅れていて、関東は他社間での交流があり素晴らしい
- ・「遊戯・球技・競技」というくくりでレベル設定してはどうか
- ・女子と男子でものごとをまねる能力に差がある
- ・ボールを変えてラリーを見せると保護者が納得する
- ・ラケットサイズはフロントから変更の促しを
- ・コーチの能力が本当に問われる
- ・P & Sとは、教えるではなく気付かせることである
- ・P & Sを導入しているからと言ってボールフィードをしていけないわけではない
 - むしろ目的を持ったボールフィードをすることは必要である

【考察】

P & Sを導入しているか・名称を使用しているかという問いに対して約32%が導入していないと答えているのに対し、カラーボールや道具は89%の事業者が使用していると答えている。

このことから今まで各協会などでセミナー等の普及活動を行ってきたが、本質的な理解を得て取り組んでいる事業者はまだ増える可能性があり、十分に周知、普及をしているとは言えない現状であると推察できる。

また、スクール内で試合を実施しているかという問いには頻度や内容の差はあるにせよ、1事業者を除きカラーボールでの試合を実施しており、テニスという競技において「試合」というものの重要性に関しては高い意

識が感じられる一方、日本テニス協会管轄の10歳以下の公認大会がないことに対して事業者任せになっている側面が浮き彫りになっている。このことはテニスの取り巻く環境の厳しさ、少子高齢化を迎える今後の日本の現状を鑑みて、試合制度の再考・構築を協会、事業者ともに取り組んでいく必要があると考える。

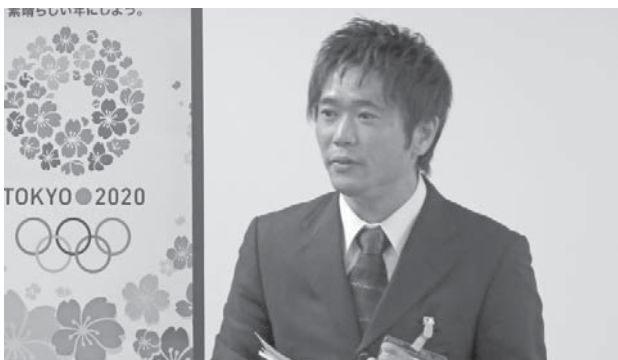
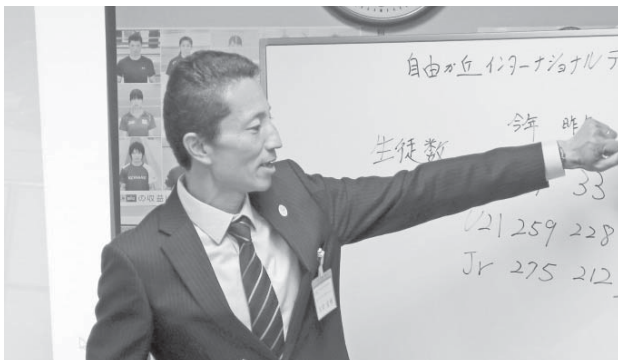
今回のセミナーのメインのテーマでもある実施してきた結果として成果がでた事例・良かった点に関しては、その反対にある問題点・課題と表裏一体の答えとなった。具体的には、スタッフに対して、「コーチが考えるようになり、コーチのレベルアップにつながっている」という意見に対し「現場のレベルが追い付いていない」「若手コーチの能力不足」といった意見がでている。

また、子供達やレッスンの内容に対して「子供達の意欲が上がった」「何もしない子供が減った」「レッドステージでの戦術が豊かになった」といった意見に対し「型がなく自由すぎて難しい」「指導感が足りない」「フォームが安定せず、レッドボールでアウトしてしまう」といった意見がでている。

この意見の差は導入した事業者が感じたメリットと、導入したが、本質的に理解ができていない状況や導入をしていない事業者としての意見の差と感じられる。各意見を見ても、良い点として挙がっている意見の多くに子供達に対する変化やテニスのプレーに対するメリットがあがっているが、問題点としてあがっていることには、レッスンや運営に関することが多い。

P & Sのプログラム自体、子供達の成長を促し、テニスの楽しさを伝えるものであることは明白であり、誰の為のものなのかということを考え、そのメリットを活かすことを最優先に考えることで多くの問題・課題は今後解決できることであると考えている。もちろんそのために協会・各事業者が強い思いを持って今後の方向性を話し合っていくことが必要である。

最後に行ったフリーディスカッションで出ているような、レッスン内容に関して、スタッフの育成、保護者の理解等のことに対して、より深く話し合う機会を設けることができればよいのではないかと考える。





1000 分の5秒とフォアハンド

東戸塚松原テニススクール スジガネ君と代筆 松原 雄二

1000 分の5秒というのはボールがラケットに当たり、離れていくまでの、インパクトの接触時間のこと。この接触時間が少ないほど、ラケット面の向きが問題になる。ソフトテニスのように柔らかいボールだと打球はほぼラケット面の動く方向に飛び出していく。だからソフトテニスではそれほどラケット面の向きを気にしないで済む。一方、その対極にあるのがゴルフ。ちょっと面が開いたり、引っかけたりしただけで左右のコース外に飛び出し、OBになる。もう一つの例が野球だが、こちらの方はバットの断面が丸いため、そのまま出そうが被せようが、バット面は変わらない。そのうえ野球では間違っても上に飛ばし、フェンスの向こうに行方不明ボールを打っても構わないというルールだから、面の安定度はまるっきり問題にならない。

では、テニスのフォアハンドの話に移ろう。インパクトのラケット面を垂直にすればよいわけなので、このラケット面を保つための方法が古来考えられてきた。その一つの方法が、面の垂直をスウィング中、常に保つという方法。これが古典的なテニスの考え方になっている。ところが、肩を中心に弧を描いて、凹型に振るとラケット面は徐々に上を向いて行ってしまう。アウトしてしまうのだ。それを防ぐための方法が、水平にスウィングすること。テーブルの上を滑らすように水平に振るとか、上向きになる面をキャンセルするため、上体を開かないで左半身にぶつけるようにしてかぶせ気味に振るとか。不安定になる腕に頼らず、しっかり下半身で押していくなんていうものもある。究極は思いっきり腕を振らないということ。あんまり力を入れたら、さっきから出てきた基本のやり方をぶち壊してしまうからだ。私も若いころ、先輩たちからよく言われたものだ。「松原君、テニスというのはそんなに強く打って勝てるもんじゃないんだよ。」

次に、もう一つのやり方、現代のプロたちがやっている打ち方、面の保ち方について説明しよう。現代テニスのフォアハンドではトップスピンが主流になってる。肩を中心に弧を描いて、凹型に振る。高く構えたラケットを振り下げていき、身体の横で最下点に達する。それから上昇に転じるわけで、打点を前に取れば振り上げる途中でボールを捕え、自然にトップスピンが出来上がる。ここで問題になるのが、弧を描いて、凹型に振るとラケッ

ト面は徐々に上を向いて行ってしまうという問題。古典的な水平スウィングを使えないのだ。そこで出てきた回答が、徐々に上を向いて行ってしまう面を逆手に使う方法。徐々に上を向いていくのなら、行った先が垂直になればいい。インパクトで作った垂直面をスウィングと逆方向に、腕をひねらないように、肩を中心に弧を描いて、凹型に引いて行くのだ。ラケット面は徐々に下向きになり、上体の後ろではラケットヘッドは高くなり、面は後ろ向きになる。そのまま、振り子を逆方向に振り出していけばインパクトで垂直面になってボールを捕える。これが現代的なフォアハンドの基本。もちろん、インパクトの面で相手ボールを打つわけにはいかないので、それに相当する構え方や、単純な振り子ではない、高い位置からのテイクバックなど、ここ30年間に数々の改良が加えられている。ワイパースウィングでの飛距離の調整やスウィングスピードのアップなどもその一つだ。だが、一番の基本は、「肩をひねらないでインパクトの形のまま引きそのまま打つこと」なのだ。それが強烈な、思いっきりぶったたくフォアハンドを実現させている基本なのだ。

さて、2つの理論を述べたところで、重要な話題に入る。それはこの二つの理論が相容れないということ。片や、面が上を向かないように肩を開くと言うし、もう片方では肩関節がかぶらないよう、強烈に振れるように、しっかり前向きになれと言う。もともと面の作り方が違うのだから、正反対のことが多いのだ。ところがまじめに勉強するコーチの中には、両方の理論を聞いて、自分の納得する理論をいいとこ取りしたつもりで混ぜてしまう人がいる。結果、わけのわからない、何の役にも立たない教え方ができてしまうことがある。だから、しっかり分けて、セットで買ってほしい。ところで、古典的な理論だからといって、すべて捨て去る必要はない。生徒さんには古典的な打ち方の人もいるし、薄いグリップの人にはこちらの方がピンと来る人も多い。コーチも中級者くらいの人とのラリーでは使えるようになってほしい。私も、レッスンではこちらで打っていることが多いのだが、最近そのご利益を別のところで感じている。実は、フォアボレーをフラットで打つときにこれを使うとよいボールが打て、着実に上達している。スジガネ君のテニスは今まさに伸び盛りなのだ。



第一期 フロント育成塾 開催報告

フロント部会 部会長 杉山 利昌

フロント部会もサービス向上と情報交換の場として活動を始めて8年が立ちました。その間フロント業務の重要性は益々増えています。本年は「本気でフロントを楽しむ」をテーマにクラブ・スクールの要であるフロントを育成するアカデミーへとシフトいたします。年間4回

を通してプラス思考で明るく元気なフロントとして何が必要なのか、本当のフロントの楽しさとは何かを学んでいきます。他の施設を観る機会のないフロントのために施設見学会等も予定しています。

【実施内容】

名 称	第一期“フロント育成塾” ～本気でフロントを楽しむ！～		
日 時	第1回	平成27年 5月12日(火)	14:00～17:30
	第2回	平成27年 8月11日(火)	14:00～17:30
	第3回	平成27年 11月10日(火)	14:00～17:30
	第4回	平成28年 2月9日(火)	14:00～17:30
参加費	全4回	加盟会員 6,000円(税込)	非加盟 12,000円(税込)
定 員	限定20名		
会 場	公益社団法人日本テニス事業協会 会議室		
対 象	フロントを本気で楽しみたい方 年間全4回の部会に全てご参加いただける方		
講 師	第1回	ジュエインドアテニス 狛江ローンテニスクラブ	戸谷 敦子氏 池澤 幸子氏
	第2回	ノアインドアテニスステージ(株)	小坂 隆子氏
	第3回	ノアインドアテニスステージ(株)	周世 康生氏
	第4回	(株)レック興発	西教 祐子氏

【スケジュール】

13:30～14:00	受付開始
14:00～14:10	開会挨拶 会長より 部会長より
14:10～15:10	講演「楽しいフロントにするために」
15:10～15:20	休憩
15:20～16:35	グループ自己紹介 内容説明
16:35～17:15	目標設定
17:15～17:30	質疑・応答
17:30	部会終了
17:45～	懇親会

第1回 フロント育成塾 開催報告

日 時 平成 27 年 5 月 12 日(火) 14 : 00 ~ 17 : 30
会 場 公益社団法人日本テニス事業協会 会議室
講 師 ジュエインドアテニス 戸谷 敦子氏
粕江ローンテニスクラブ 池澤 幸子氏
参加者数 20 名

今年度からフロント部会では、「本気でフロントを楽しむ」をテーマに一年間を通して学びの場の提供をするための「フロント育成塾」を年 4 回開催いたします。今回は初回ということで 2 名のフロントの方に今までの接客方法やスタッフとの関わり方等を発表していただき意

見交換を行いました。その後、今後の進め方を副部会長が説明し、参加者各自の課題を克服するために今後の育成塾のなかでどう取り組んでいくかを考えていただきました。





新緑まぶしいテニスに最適の季節が過ぎると、梅雨そして夏の暑さがやってきます。

太陽のもと、汗を流すというスポーツの醍醐味は、反面、体には厳しい状態を強いています。適切な水分補給や休憩により、熱中症を予防し、お客様がより快適に安全にプレーを楽しめるよう準備をすることが大切です。

また、今や仕事に欠かせないアイテムであるパソコン、そしてインターネットですが、便利な反面、様々なリスクも含んでいます。正しい知識と備えの元に活用されま

すことをお勧めいたします。

～熱中症にご注意！～

日差しがきつく、気温が上昇する厳しい季節がやってきます。

適度な休憩と水分補給で熱中症の発症を抑えましょう。

■運動時の水分補給

- ① 水分補給のタイミング
30分前後の間隔でこまめに水分補給して下さい
- ② 水分補給する量
1回に1口～200mlが適しています
- ③ 飲み物の温度
常温、5度～15度に冷やした物が適当です。
冷たすぎる物は吸収が悪いので避けましょう
- ④ 飲み物の成分
塩分濃度0.1～0.2% 糖度3～5%（スポーツドリンクが適しています）

喉が渴いたなと思った時には脱水は始まっており、心拍数は上昇、運動パフォーマンスも落ち始めます。

自分の好きなタイミング（自由飲水）だけでなく時間を決めて強制的に水分補給（強制飲水）によるこまめな水分補給を心がけましょう。



～天候の急変に注意！～

突然の豪雨や台風の発生などが考えられます。

状況によっては、レッスンの中止を決定しなくてはなりません。

天候の状況によってすぐに中止の判断ができるように予めルールを決めておきましょう。

～気をつけましょう！（ネット情報編）～

今や私たちの生活に欠かせないものになりつつあるインターネットですが、便利な半面、様々な危険性を含んでいるのも事実です。

多くの情報が瞬時に得られることは最大のメリットではありますが、誤情報も少なくなく、正しい情報を正しく利用するという力も必要になります。

瞬時に情報を得られると言うことは、情報の流出も瞬時であることを意味し、ネット上に仕掛けられた罠やウイルスに引っ掛かってしまうと、使用しているパソコン1台のみならず、その他、連携しているパソコンを含むネットワーク全体から情報が漏洩する恐れもあります。

またネット上の文章や画像には著作権・肖像権・所有権等、様々な権利が存在し、それらを安易にコピー、引用することは法に抵触する可能性の高い、非常に危険なこともあります。

利便性の高いインターネットですが、正しい知識の元に活用することが重要です。

1. ウイルス対策ソフトの導入を

使用するPCすべてにウイルス対策ソフトをインストールしましょう。

またソフトは常に最新の状態に更新しておきましょう。

外部からの悪意を含んだ攻撃は、メールやネット閲覧等、多方面から仕掛けられます。ウイルス対策ソフトの導入は最低限の備えと言えるでしょう。

しかしながら近年、PCに悪影響を及ぼす攻撃は様々な形でやってくるようになり、ウイルス対策ソフトのみでは万全とは言えません。セキュリティルーターの導入等、二重三重の備えに越したことはありません。

2. パソコンの使い分けを

会員管理ソフトを導入されている事業者も多いかと思えます。会員管理ソフトは個人情報に代表される、取扱いを厳にしなければいけない様々なデータを扱います。これらのデータの漏洩・流出の事故を避けるため、会員

管理ソフト用 PC と事務処理用 PC を分けることをお勧めします。

またそれぞれの PC の使用権限を職位別にすることも有効です。

3. メディアの使用制限を

メディアと呼ばれる電子記憶媒体（SD カード・USB メモリ等）は、データの読み込み、書き出しが容易で非常に便利なツールですが、反面、データ流出や紛失の危険性も孕んでいます。またインターネット経由でのウイルス感染対策を施していても、メディアからのウイルス感染には別の対策が必要です。

原則としてメディア使用は禁止するのが安全でしょう。

4. インターネット閲覧には制限を

インターネット上には不適切なサイトも存在します。それらのサイトには閲覧しただけでウイルスに感染したり、さらに不適切なサイトへ強制誘導されるものもあります。

最大の防御策は閲覧しないことです。インターネット閲覧にフィルタリング(制限)を掛けることが良いでしょう。制限はブラウザ（閲覧ソフト）設定、ウイルス対策ソフトでもある程度対応が可能です。

5. 情報発信にはガイドラインを

HP 上のニュース等のオフィシャルな発信事項はもちろんですが、スタッフ日記等のブログや Facebook ページ、Twitter 等の SNS ツールでの発信にはガイドラインを設定しましょう。

スタッフやお客様の個人情報保護、法令を遵守すること、公序良俗に反しないこと、スポーツ施設であることのイメージを損なわないことを基準に策定するのが良いでしょう。オフィシャルな発信には飲酒・喫煙に関連するものやスタッフルーム内が写った画像は避けたほ

うが賢明です。

インターネット掲示板への書き込みも禁止したほうが良いと思われます。

6. スタッフ個人のネット発信について

スタッフ個人のブログ、Facebook、Twitter 等の発信についてもある程度、把握しておいた方が良いでしょう。

お客様はスタッフ（特にコーチ）の情報には敏感です。ブログや Facebook、Twitter での発信・発言は、私たちが思う以上に細かくチェックされています。個人発信だからと何をしても良いわけではありません。不用意な発言や画像の映り込み等には細心の注意を払うよう、日頃から教育しておきましょう。

7. コピー＆貼り付けは厳禁

ネット上の文章、画像は簡単にコピー・引用出来てしまいますが、それらには必ず権利関係が存在します。イラスト、画像も無料使用可を明確に謳ったもの以外は勝手に使用してはいけません。

安易なコピー＆貼り付けをして、後から高額請求をされる例もありますので、注意が必要です。

8. 情報は解禁日を確認

展示会・試打会・商談等、一般ユーザーより早く新製品情報に触れる機会が多くありますが、承諾無しに商品画像・詳細をネット上へ公開するのは避けましょう。

新製品には情報解禁日が設定されており、それ以前に公開することは禁じられています。必ず解禁日を確認しましょう。

一度ネット上に公開された情報は、削除してもどこかに残ってしまいます。

発信前の体制づくりが重要になります。





「安全・危機管理マニュアルの配布並びに説明会」 開催報告

- 開催日：平成27年3月31日(火) 14:00～17:00
- 会場：公益社団法人日本テニス事業協会 会議室
- 参加者数：39名

スケジュール

時 間	内 容
13:30～14:00	受付 公益社団法人日本テニス事業協会会議室
14:00～14:05	開会式 会長 大久保 清一
14:05～16:55	テーマ：「安全・危機管理マニュアルの配布並びに説明会」 内 容：①「安全・危機管理について」(株)スポーツクリエイト 金田 彰氏 ②「人的管理について」(株)レック興発 富塚 拓彦氏 ③「施設管理について」(株)メガロス 境 敬行氏 ④「金銭の危機管理について」VIP・TOPグループ 金子 健一郎氏 ⑤「情報管理について」(株)リバティヒル 恩田 康弘氏 ⑥「防火・防災管理体制について」(株)ルネサンス 館内 祐二郎氏 ⑦「防犯管理について」善福寺公園テニスクラブ 野田 照彦氏 ⑧「保険について」(株)スポーツクリエイト 金田 彰氏
16:55～17:00	終了挨拶 金田安全委員長
17:15～	懇親会



第2回テーピング講習会 開催報告

安全委員会 金田 彰

6月4日小菅先生を講師に第2回テーピング講習会が開催されました。

先生の接骨院を会場に、会員企業からコーチ、フロントスタッフも含め、24名定員での開催となりました。

小菅先生ご自身はテニスプレーヤーでありベテランの全日本ランキングは一桁の名プレーヤーです。講習ではラケットを握りながら、各関節や腱、筋肉の構造から、丁寧に説明をいただき、参加者にはとてもわかりやすかったとの感想をいただきました。

今回はテニスエルボーのためのテーピング、そして足首の捻挫予防、最後にふくらはぎの筋断裂の予防のためのテーピングをご指導いただきました。

実習では、先生のように皺の無い仕上がりは程遠く、参加者は皆、各自悪戦苦闘、汗だくで取り組んでおられました。

「練習をすれば、上手になりますよ。」と励まされ、まさにテニスと同じだと納得した参加者の皆様でした。



『人事・労務コラム「マイナンバー制度への対応できていますか?!」』

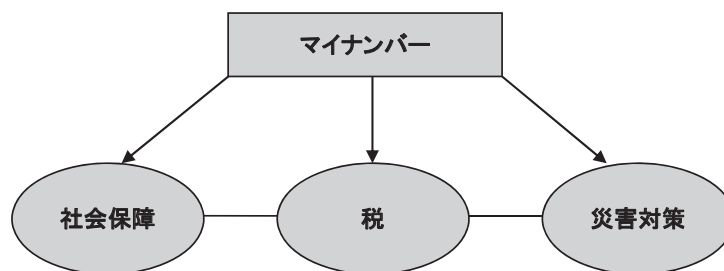
1. マイナンバー制度

昨今、新聞やメディアなどで頻繁に取り上げられているマイナンバー制度が、いよいよスタートします。それに先立ち、平成 27 年 10 月以降、マイナンバーが各市区町村から住民に通知されることとなっています。

マイナンバー制度とは、社会保障・税制度の効率化・透明化を目指して、平成 28 年 1 月から導入されることになった社会保障・税番号制度で、個人（年

齢・国籍問わず住民票の保有者）には 12 桁、法人（会社登記を行ったすべての法人）には 13 桁の番号が付番されます。

各テニス事業場では、社会保険手続きや源泉徴収等の際に社員、契約社員、アルバイトの他、業務委託コーチなど各人のマイナンバーが必要となるため、制度開始前から番号の収集や管理等の対応が必要となってきます。



2. 事業主が対応しなければならないこと

マイナンバーを含む情報（特定個人情報といいますが）を漏えいした場合は、個人情報保護法以上に厳

しい罰則が適用されるため、マイナンバーを取り扱うにあたり、事業主は次の①～④の準備が必要です。

①組織的安全管理措置
マイナンバーを取り扱う責任者、事務取扱担当者を明確にする。 情報漏えい等の発生に備え、日頃から「報告・連絡・相談」が出来ているか確認をする。
②人的安全管理措置
事務取扱担当者の監督、教育を行う。 必要に応じて社内研修を行うなど、制度の周知徹底を行う。
③物理的安全管理措置
マイナンバーを取扱う部屋の確保、座席配置の工夫などをする。 書類の置き忘れ、紛失などがないよう、専用の保管場所も確保する。
④技術的安全管理措置
担当者を限定するためのアクセス制御、アクセス権限の管理、アクセスの記録を行う。 ウィルス対策ソフトウェアの導入やデータの暗号化など情報が漏えいしないよう対策をとる。

3. 今後のスケジュール

マイナンバー制度施行に向けて、下記のスケジュールを参考に、対象業務を洗い出した上で、ど

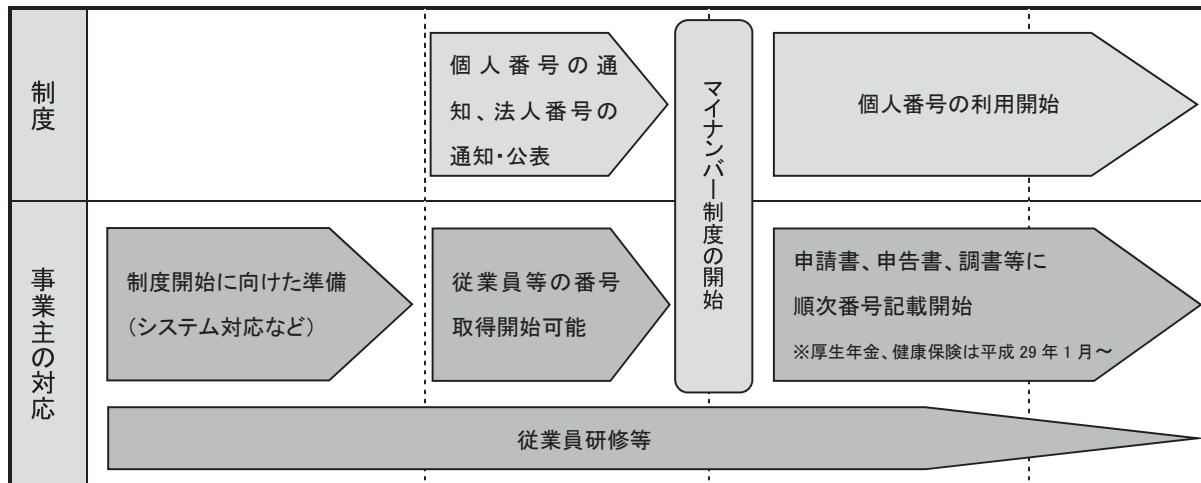
のような対応をすべきか計画的に決定していくことが重要になります。

【スケジュール例】

(平成 27 年 10 月)

(平成 28 年)

(平成 29 年)



■ご相談は

社会保険労務士法人プロジェスト (担当：守屋)

TEL 03-6439-5585 FAX 03-6439-5580

E-mail : tmoriya@proggest.co.jp

私たちは、テニススクールを含めた数多くの事業主様からご依頼を受け、各種規程や賃金の見直し、助成金申請のサポート等を行っておりますので、お気軽にご相談ください。

『税制コラム Part XXVIII 「円満な相続のために」』

最近、新聞・雑誌・ニュースなどで「相続」や「相続対策」をテーマにしたものを目にします。やはり今年からの相続税増税による影響なのでしょう。

「相続対策」と聞くと、まず思い浮かべるのが「いかに相続税額を下げるか」というものでしょう。確かにそれも切実な問題ですが、もう一方で忘れてはならないのが「いかに兄弟円満に相続するか」ということです。しかしそうならない事も、相続の現場では良くあることです。

ご相談者にそのような話をしますと、「イヤイヤ、うちの子に限って…」という言葉が帰ってくる場合があります。そのような思いは親なら当然持つ感情でしょう。

ところが実際には親の期待通りには行きません。いざ相続が発生してみると、まず財産の経済価値に目がいき、相続人である兄弟達だけでなく、その配偶者などの横槍が入る中、次第に感情的な問題に発展していき、最後には収集が着かなくなる。相続税の申告・納税期限の10ヵ月どころではなく、何年経っても話し合いがつかず、財産分割できない例もあります。もうそうになってしまうと各兄弟は絶縁状態です。財産を残された親御さんからすると、とても悲しくむなしいことです。

相続争いとなってしまう良くあるパターンは、①遺言書がない。②遺言書はあるが遺留分（いりゆうぶん）を侵害している。③特定の相続人に多額の生前贈与があった。④遺産の内容について特定の相続人だけが情報を握っている。などです。

争い防止の第一歩は遺言作成です。財産を確実に特定の相続人に相続させるには、言うまでもなく遺言書を作成することです。しかし親は公平に分けた積りでも、期待通りの遺言になっていた相続人はともかく、自分の意に反した遺言になっていた相続人の場合、遺言書の開示で不愉快な思いをすることになってしまいます。

結果、法律的には遺言通りに分割できたものの、その後兄弟仲が悪くなったり、親に不信感を持ったりする事もあります。

まして遺留分を侵害している遺言がある場合は、更に深刻な問題です。

まず、相続には法定相続分という考え方があります。遺言が無い場合、遺産分割には何らかの目安が必要です。相続人が兄と弟の二人なら法定相続分は各1/2です。「全財産を長男へ」という遺言も弟が「それでいいよ」と言えばOK、法定相続分も関係ありません。

しかし全部兄貴に行く事を納得しない弟もいます。そこで民法は法定相続分の1/2を遺留分と定めています。弟は1/4（ $1/2 \times 1/2$ ）の遺留分です。遺言で相応の財産が与えられなければ、1/4までの財産を要求できます。「全財産を長男へ」との遺言ならば1/4を兄貴から取れます。これが遺留分減殺（げんさい）請求です。遺留分減殺請求は当然の権利ですので、裁判は不要です。しかし金額や分け方で裁判となり、もちろん兄弟絶縁です。

遺留分が問題になりそうなケースは、代々続く地主さんや事業会社オーナーさんの相続で、後継者以外に兄弟姉妹がいる場合などです。

守るべき資産・事業を適切な相続人（後継者）に相続させようとする、相続人の間での分割財産額にアンバランスが生じます。共有による均等分割は、後で一氣に問題が噴き出すことになります。結果、遺留分の問題が出てくるのです。

同様に、相続事前対策の過程で、③特定の相続人への多額の生前贈与や④遺産の内容について特定の相続人への情報の偏りも出てきます。

ではどうすべきなのでしょう。唯一の解決法は、親が元気なうちに、家族で財産分割について、キチンと話をしていくことです。

親からすれば、どの子も平等に大切です。しかし、財産分割は経済価値だけ見ると平等にいきません。後継者はその責任と事業リスクを背負うのです。「この理由だから…」「お前には少ないが許せ…」とその想いを伝え、時間をかけてでも納得させます。そして親主導で生前遺産分割協議書に全員署名押印。むろん法的には無効でも、同内容で遺言書を作成すれば争いは減りそうです。

もちろん、納得できず不満を持ったりする兄弟もいるでしょう。でも相続時に初めて内容を知る場合より、争いは避けられます。

別に、遺言の内容を相続人が知る事になっても、アガサ・クリスティーや横溝正史の小説のような事件は起こりません。

■ご相談は

株式会社青山財産ネットワークス

担当：有田能正 CFP®（日本FP協会認定）

TEL 03-6439-5801 FAX 03-6439-5850

E-mail : y.arita@azn.co.jp

庭球人語 其の三十

「肯定的幻想」または「理想化」

今まで「長所」について研究する時には、まず「短所」の研究をしていたらしい。

「良いもの」は「悪いもの」の反対だから、「長所」を理解するには「短所」を研究して、その結果を逆にすれば良いというのが、この100年くらいの主流だったらしい。

「最高のリーダー、マネージャーがいつも考えているたったひとつのこと」という本の中で、マーク・バックinghamはこう言っている。

「幸せな結婚生活」を学ぶために「不幸な結婚生活」が研究され、「互いにパートナーのことを理解していない」＝「相手の強み、弱み、価値観を正確につかめていない」ということが明らかになると、「幸せな結婚生活」のために必要なのはその反対、つまり「パートナーの強みや弱みや価値観を評価し受け入れること」だとされていた。

しかし、ここ20年の間に研究の焦点は失敗例から成功例に変わった。

「良いもの」は「悪いもの」の反対ではなく、単に異なるだけだから、成功した結婚生活の特徴を知りたいなら幸せな結婚生活の研究を行うべきだとなったらしい…。

そしてその研究の結果、長い間一緒にいて満足度の高い夫婦に共通していた事は、お互いパートナーに対して、パートナー自身の自己評価より高い評価を相手に対してしていることだと分かった。

は？分かりにくいよね…。

つまり、相手に対して相手自身すら自分に「ない」と思っている美点を、自分の方は「ある」と信じているのである、勝手に…。そう、勝手に。

「肯定的幻想」または「理想化」

奥さんの「短所」を見つけ出し、はっきり定義づけしてしまうと、その「短所」に不当な力を与えることになる。

例えば「彼女はせっかちなのではない、熱心なのだ」とか「彼女は視野が狭いのではない、集中型なのだ」とか、「短所」を「長所」の一側面として捉え直すことだという。

夫婦の間で不都合な情報に目をつぶるのではなく、新しい情報も、新しく発見されたどんな「短所」も、「長所」に形を変えていくので、2人の関係は将来に向けてどんどん強固になっていくんだって…。

さらに、相手に対するその思いは、正確である必要がない。つまり「恋は盲目」状態がずっと続いていることが夫婦円満の秘訣らしい。

そしてマーク・バックinghamによると、幸せな結婚生活のために必要なたった一つのこととは、こんなことらしい。

「お互いの行動についてもっとも寛大な解釈を当てはめ、それを信じること」

ここまで読んだ時、前にこのレポートにも書いた私の親父の戦時中の工兵学校でのエピソードをまた思い出した。

工兵学校の先生をしていた親父は、クラスの中でなかなか成績が伸びないある工兵の事を気にかけていた。よく見ていると彼には、いつも床の落ちている糸くずを拾ってそれを丸める癖があった。ある時、親父は全員の前でこう言う。

「○○は大した者である！この物のない時代に、落ちた糸くずも捨てずに拾って大事に丸めて持っている。見上げたものである！」

すると、この日からこの男は勉強をやり出し、ほとんどビリからクラスで2番まで成績をあげたんだって…。

「肯定的幻想」または「理想化」

その工兵が物を大切にするために糸くずを拾っていたかどうか、真実は別にどうでもよいのである。ただ、親父はそれを「長所」として捉え、それを信じた。

大事なのは、その行動にプラスの意味を与えたことと、それによって言われた本人が自信を得て行動が変わったこと。

ね、すごいヒントでしょ？ぜひあなたも試してみたい。

ものすごく劇的な変化をあなたのチームにもたしますよ、きっと…。

JTIA 賛助会員のご紹介



■特別賛助会員 (50 音順)

株式会社青山財産ネットワークス 〒107-0052 東京都港区赤坂 8-4-14 青山タワープレイス 3F	個人財産・法人財務・不動産ソリューション等コンサルティング Tel. 03-6439-5800	担当 有田 能正
サントリーフーズ株式会社 〒104-0031 東京都中央区京橋 3-1-1 東京スクエアガーデン	清涼飲料水及び加工食品の販売 Tel. 03-3275-7058	担当 益子 太一
スポーツサーフェス株式会社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 4-2-10 坂田ビル 5 階	テニスコート設計・施工 Tel. 03-6202-0757	担当 三浦 典男
ダイドードリンコ株式会社 〒108-0023 東京都港区芝浦 4-2-8 住友不動産三田ツインビル東館 4F	清涼飲料水等製造及び販売 Tel. 03-5730-1213	担当 田口 智行
株式会社ダンロップスポーツマーケティング 〒108-0075 東京都港区港南 1-6-41 品川クリスタルスクエア 7F	スポーツ用品メーカー Tel. 03-5463-7324	担当 長島 邦夫
長永スポーツ工業株式会社 〒157-0076 東京都世田谷区岡本 3-23-26	スポーツ施設の企画・設計・施工 Tel. 03-3417-8111	担当 鬼頭 芳弘
テニスサポートセンター 〒181-0003 東京都三鷹市北野 4-1-25	オリジナルテニス商品・テニス用品販売、中古ラケット買取・販売 Tel. 03-5314-3734	担当 中山 和義
株式会社ネステイ 〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-9-4 五反田宏陽ビル 7F・5F	テニスクラブ・スクール運用ソフト開発・販売等 Tel. 03-3473-5168	担当 吉田 浩道
株式会社ビーシーセンター 〒271-0052 千葉県松戸市新作 240-3	ASP による会員管理システム & e-ラーニングシステム等 Tel. 03-3209-6111	担当 高山 純寛
社会保険労務士法人プロジェスト 〒107-0052 東京都港区赤坂 8-4-14 青山タワープレイス 3F	日常の労務問題等に関する相談等 Tel. 03-6439-5585	担当 福田 良枝
ヨネックス株式会社 〒113-8543 東京都文京区湯島 3-23-13	テニス用品メーカー Tel. 03-3839-7128	担当 原口 浩二

◆協力賛助会員 (50 音順)

株式会社アイエス	各種印刷物、広告物、屋外広告、看板、幕、のぼりの製作会社
ジャパンリスクマネジメント東京株式会社	生命保険・損害保険代理店
株式会社ダイエープロジェクト	スポーツ施設用大型テント、スポーツ施設設計・施工等、その他建築工事一式
東京ウェルネス株式会社	テニス施設・インドアコート・スポーツ施設設計・施工
東京海上日動火災保険株式会社	損害保険全般
ホクエツ印刷株式会社	印刷業

□賛助会員 (50 音順)

I.C.P. 株式会社	インドアテニスコート上屋の設計・施工、膜構造物の設計・施工等
アシストインターナショナル株式会社	テニスコート設計・施工、人工芝輸入・販売・施工
株式会社アスリード	コーチ派遣、イベントの企画・運営、テニスクラブ運営・委託業務等
アメアスポーツジャパン株式会社	スポーツ用品製造・販売
株式会社ウエルビー	スポーツクラブ各種スクール、フットサル、ゴルフスクール他
株式会社 SRI システムズ	テニスクラブ・スクール運用ソフト販売等
株式会社遠藤照明	各種照明器具の企画デザイン設計製造及び販売、システム収納家具の販売、他
株式会社小野設計	建築設計・監理
株式会社オリコビジネス&コミュニケーションズ	LED・空調機器その他
NPO グローバル・スポーツ・アライアンス	スポーツを通じた地球環境保全活動
グローブライド株式会社	スポーツ用品の製造ならびに販売等
株式会社ゴーセン	テニス用品製造・販売
ゴーツスポーツ株式会社	屋外スポーツ器材・備品の販売及びメンテナンス
株式会社 GNE	省エネ・省コスト事業全般
ジャスパス株式会社	振替口座の印鑑不要な口座振替受付・集金代行サービス、クレジットカード決済システムの提供
株式会社新光トレーディング	スポーツサーフェイス輸入販売、施工管理
株式会社スポーツサンライズドットコム	スポーツイベント企画・運営、選手データベース管理
株式会社住ゴム産業	スポーツ舗装材(人工芝・ゴムチップ等)の販売・施工
総合警備保障株式会社	機械整備・常駐警備・警備輸送・総合管理・防災業務等
ターフサイクル株式会社	人工芝リサイクル事業
地業建設株式会社	テニスコート施工
株式会社テニスナビ	WEB サイト作成、映像製作、印刷物製作、テニスポータルサイト運営
東亜ストリング株式会社	テニス・バトミントン・スカッシュのストリング製造・販売
株式会社 トモ	コインパーキングのトータルプロデュース、スポーツ施設の企画・設計・施工等
株式会社日東社	マッチ・ポケットティッシュ・名入れライター・ノベルティ用マスク等の製造販売
株式会社 NIPPO	テニスコートの設計・施工、スポーツ施設の設計・施工
日本体育施設株式会社	各種運動場の基本計画・設計施工・請負及び監理等
長谷川体育施設株式会社	テニスコート並びにスポーツ施設の基本計画・設計施工・請負及び監督等
有限会社パワースポーツ	エネルギー栄養補給食品、スポーツ飲料、スポーツウェア他販売
株式会社フュービック	テニスポータルサイト「tennis365.net」の運営
ブリヂストンスポーツ株式会社	ゴルフ・テニス用品製造・販売
ベイントマノン	建築塗装
HEAD Japan	スポーツ用品の輸入販売 HEAD、Tyrolia ブランド
前田道路株式会社	スポーツ施設の設計・施工
有限会社マツオホケンサービス	保険代理業
株式会社マックスヒルズ	広告の企画・立案・製作・実施、セールスプロモーション企画、ホームページ製作管理等
丸菱産業株式会社	家庭用温熱導子付低周波治療器「サンマッサーホット 22BL」製造・販売
ミスノ株式会社	総合スポーツメーカー
ミラクル株式会社	スポーツ器具の開発・製造・販売、脚の健康に良い履物などの開発・製造・販売
明治安田システムテクノロジー株式会社	預金口座振替による集金事務代行業務の受託および付帯関連業務
株式会社ライフ・デボ	スポーツ施設設計・施工・メンテナンス・LED 照明等
株式会社ライフターゲット	海外テニス留学斡旋、ホームページの製作、テーピングテープの販売
株式会社ランドマークジャパン	スポーツ施設向け LED 照明の開発・販売等
有限会社リパティヒルバケーション	旅行業
株式会社 WOWOW	衛星を経由した有料放送事業

JTIAロゴ入り名刺のご紹介

(公社)日本テニス事業協会では協会ロゴマークと気候変動キャンペーン「Fun to Share」のロゴマークが入った名刺の台紙を作成販売いたしております。(2色カラー印刷)

JTIA会員の証として、環境にやさしい事業所をアピールするためにご活用頂ければ幸いです。



1箱(100枚) 1,080円(税込み) ※送料別

ご希望のかたは事務局までお問い合わせください。

第二十九回テニス川柳優秀作品

広報委員会テニス川柳担当委員会選

錦織の 試合直後 夢で逢う 土曜日クラス WOWOW最高!
やだやだと 始めたけれど 微笑みが水曜クラス あきらめない娘
だめよだめ クロスと見せて ストレート

日曜クラス 日本へタレ連合

外しても 笑ってごまかす 腕はある 水曜日クラス ふえでーる

ラケットを 妻にナイショで お買い上げ 火曜日クラス しのぶ

編集後記

皆様こんにちは！

錦織選手の全仏ベスト8進出素晴らしかったですね。マスコミの方々の報道では、優勝を期待する声も多かったのがっかりされた方も多かったかもしれませんが、また日本人男子が本戦に5人出場したグランドスラム大会は過去から見ても大変な快挙だったのではないかと思います。

さて先日開催された総会の際に、特別講演をいただきましたのでご存知の方も多いかと思いますが、テニス環境等実態調査報告書が日本テニス協会より発行されました。それによりますと日本のテニス人口は399万人となり前回調査の373万人から微増となったそうです。

またテニス事業所は全国に1,726カ所(156カ所の不明を除く)存在しているとの報告がありました。JTIAの会員数は6月16日の総会開催時201社(事業所471ヶ所)との発表がありましたので、我々の仲間はまだまだ全国各地にいらっしやいます。テニスが注目されている今、是非もっと多くの方々にメンバーとして加入頂き、我々の活動に参加いただけるよう、一層のお声掛けをして盛り上げていきたいと思います。

JTIA News! 2015.6 Vol.67

発行:公益社団法人日本テニス事業協会

発行日:平成27年6月30日

発行責任:大久保 清一

編集責任:吉田 好彦(広報委員長)

発行所:公益社団法人日本テニス事業協会

TEL.03-3346-2007

FAX.03-3343-2047

〒160-0023

東京都新宿区西新宿1-8-3

小田急明治安田生命ビルB1

<http://jtia-tennis.com>

mails@jtia-tennis.com

Kevin Anderson (RSA)
ケビン・アンダーソン選手 (南アフリカ)

Misaki Doi (JPN)
土居美咲選手 (ミキハウス)

SRIXON®

DEDICATED TO IMPROVING YOUR GAME™

Zarina Diyas (KAZ)
ザリーナ・ディアス選手 (カザフスタン)

Kurumi Nara (JPN)
奈良くるみ選手 (安藤証券)

